

## 第2回瑞浪市環境審議会 会議録

- 日 時：平成29年10月30日（月） 14：00から16：00まで
- 場 所：市役所2階 大会議室
- 出席者：委 員 海道清信（会長）、溝口博敏（副会長）、安藤精志、岩島孝之、  
請井裕美、加藤栄子、三戸憲和、柴田幸一、清水芳樹、  
松崎英之、丸山多美子、水野幹隆、
- 欠席者：委 員 河瀬進、永井恒
- 事務局：鈴木創造（経済部長） 小栗英雄（経済部次長兼環境課長）  
加藤龍嗣（環境課環境政策係長） 今井健人（環境課環境政策係）

### ■議事

事務局 第2回瑞浪市環境審議会を始めさせていただきますが、本日、河瀬進様と永井恒様が、都合により欠席されておりますので、ご紹介いたします。

次に、本日の資料の確認をいたします。事前に送付いたしました本日の審議会の次第、資料1 市民意識調査の結果、資料2 環境基本計画後期素案、資料3 見直しスケジュールの4点になります。そして、本日配布いたしましたのが、2名の委員の方よりいただきましたご意見になります。

それでは、会議に先立ちまして、会長よりご挨拶をいただきまして、引き続き進行もお願いいたします。

会長 今年海外に行くことが多くて、先週はスリランカ、昔のセイロンにいておりました。また明日からタイのバンコクに行くことになっていて、忙しくしています。それで、スリランカもタイも南にありまして、年中夏で、今は雨期でして、夜に雨がたくさん降ります。年中夏ということによさそうですが、よし悪しですね。日本の場合は、春夏秋冬がありますが、世界では春夏秋冬がない国もたくさんあります。日本は、自然にもめぐまれていて、私たちが当たり前と想着いても、世界から見ると大変貴重で、大切な特徴だと思います。

そして、タイのバンコクも高度成長により大規模な開発が進んでいて、古いものがなくなっていく。スリランカのコロomboでも、中国が投資をして大規模にニュータウン開発をしています。日本が昔行っていたような開発で、まさに発展の最中です。

瑞浪の場合は、発展の最中ではなく、地域の歴史とか文化とか環境を活かして、落ち着いた形で持続性のある発展をしてほしいと思います。

## ①第二次瑞浪市環境基本計画（前期）の評価について

会長            それでは、議題に移りますが、まずはこれまでの環境基本計画の前期の評価をしていただき、それを受けて後期の計画のあらましが、議題になってくると思います。

                  その後、本日の皆様のご意見をうけて改めたものをパブリックコメントという形で市民の方に見ていただき、ご意見をいただいて環境基本計画を完成させるという流れになりますので、本日は、活発な意見をいただければと思います。

                  それでは、資料2について事務局より説明をお願いします。

### <事務局説明>

会長            事務局より説明がありましたところについて、なにかご意見はありますか。

副会長          前回の審議会で、基本施策について担当課と打合せを行うとのことでしたが、反映したものがこれでしょうか。

事務局          はい。今、説明した部分と、36ページからが反映したのになります。

会長            6ページの里山の保全についてですが、年間被害額が116.1万円とありますが、この計算は、どのように行っていますか。

事務局          これは、農業共済の補償制度がありますが、その申告額になります。

委員            実際は、申告していないものもあるのではないのでしょうか。

事務局          ご指摘のとおりで、零細農家でも、被害を申告していただければ計上できますが、まずされないのが、計上することは難しいです。

委員            他にも駆除頭数の目標は、設定しないのですか。市で報償費の予算を組んでいる以上、農産物に影響を及ぼしているから駆除しようということだと思えますが、駆除目標を立てている以上、それが環境に対する目標になると思えます。

事務局          ご指摘のとおりですが、まず、全体の頭数を把握して、それに対して計画を立てて駆除を行い、管理を行います。例えば、平成28年度では700頭

以上駆除していたと思います。それで被害額が減ったわけでもありませんが、ご指摘のとおり、駆除頭数で表示することもできると思いますので、両方の目標を設定する方向で検討します。

会長 新規就農者数についてですが、実績値がありません。過去に全くいないということはないと思いますが、どうでしょう。

事務局 農林課で新規就農者は把握しておりますが、ここでいう新規就農者とは、認定を受けた方ですので、実績としては0人になります。

委員 8ページの水質についてですが、8/22カ所とは、基準超過が8カ所ということですか。

事務局 市内22カ所で水質検査を行っていきまして、大腸菌群数の環境基準を超えたのが8カ所ということになります。岐阜県環境主管課長会議でも議題に上がりますが、清流と言われる長良川水系でも、大腸菌群数の増加は見られていきまして、自然由来の土中の菌の流入や川底の土砂の中の菌が原因ではないかというのが県の見解になります。

会長 8ページの景観計画について、策定施行についてですが、大規模開発の届け出件数や、指導件数を載せていただくと、具体的施策の効果になるのではないかと思います。

事務局 承知しました。

副会長 太陽光の普及啓発を行うということでしたが、今後、パネルが廃棄物として問題になってくると、前回議論になりましたが、その後どのような対応になりましたか。

事務局 太陽光発電用のパネルについては環境省でガイドラインを策定しています。古いものは25年ほどになると思われまますので、そろそろ廃棄物として出てくると思いますが、リサイクルか適正処理かのガイドラインが示されています。

会長 そのガイドラインをふまえて市も対応されますか。

事務局 産業廃棄物の分類になりますので、県の管轄になり、適切な指導が行われると思います。

会長 対応については、後半の議題である、施策の体系で検討しましょう。

委員 基本目標3「愛着のあるふるさとづくりの推進」で、「美濃源氏七夕祭りの参加者の増加に努めます」とありますが、参加者の増加のためにいろいろな企画をされると思います。チロリン村でも、現状、市民の参加より業者の方の参加がほとんどで、巷の声では、バサラなどで何千人もの参加者があり盛り上がっているように見えますが、結局、市民が置き去りで行われていると聞きます。また、全国から様々な方が参加されますが、その参加者がどれだけ地元でお金を使うか、その工夫が行われているのか。そして、昔は、美濃源氏の仮装行列や鼓笛隊などがありましたが、中止になっていき、市民が参加する機会が減っている中、参加者数が目標を達成していることに違和感を感じます。

会長 空き家・空き地バンクですが、登録も新規に開拓していかないと制度として先細りになってしまうので、登録件数も大事になります。登録件数も目標値に設定してはどうでしょう。

委員 空き家対策に空き店舗対策は含まれますか。

事務局 含まれます。

委員 以前は、空き店舗に行政が補助を行い、賑わいの創出をしていましたが、現在は、どうでしょうか。

事務局 以前は、中心市街地の空き店舗に限定されていましたが、現在は、新たに事業を行う方に補助を行っておりまして、以前よりも広い対象の方に利用していただける制度に変わっております。

会長 中山道のガイド利用者数は、どういった数字になりますか。

事務局 平成28年度にガイドを利用した方の人数になります。

委員 現在は、「ときわ」で申込する方と、「丸森」で申込する方と見えるので、

数字が変わってくるかもしれません。

会長 漏れのないように集計してください。

## ②第二次瑞浪市環境基本計画（後期）のあらまし及び改訂箇所について

会長 事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

会長 ありがとうございます。関連して委員からいただいた二件の意見もご紹介いただきたいです。

委員及び  
事務局 <意見紹介>

委員 素案の中で、瑞浪市や環境基本計画の表記が、本市や本計画に置き換えられている説明がなかったが、なぜ置き換えられたか。

事務局 計画中に表記が混在していたので、混乱を避けるため本市及び本計画に統一した。

委員 先日、瑞浪市において中央道で不幸な事故がありましたが、新聞報道で見ている限りですが、先ほども産廃問題は県の管轄とおっしゃっていましたが、市でも業者は把握して指導はされていたかと思います。そういった業者は、地場産業を支えていたと思いますが、零細業者も多いと思います。そういった業者への支援は大事ですので基本計画にも載せていくことは大事だと思います。

会長 36ページからの目標値についてですが、目標値が現状値よりも低いものがあります。例えば、水洗化率や空き家・空き地バンクもそうですし、こういった捉え方をすればよいですか。

事務局 目標値は、第6次瑞浪市総合計画から引用していますが、今回、第6次瑞浪市総合計画が見直しされていて、その目標値が変更になり反映される予定です。

会長 そういった目標値は空欄にし断り書きをつけるか、星印をつけて第6次瑞

浪市総合計画であることを明記などするとわかりやすかったです。パブリックコメントをする際に使う資料は修正されていると思いますが、委員にも修正箇所がわかる資料を事前に郵送してください。

委員 農業被害額については、やはり「0円」を目指していただきたい。

会長 数値を設定するときは、過去の変遷を含めて検討したいので、中間年度のみの数値では不十分だと思います。ですので、途中経過としてはこういった目標値になると思います。しかし、やはり行政としては「0円」を目指していただきたい。

副会長 41ページの計画の推進と進行の管理としてPDCAサイクルがありますが、Pが計画の策定、Dが前期計画の実行、Cが今行っている見直しだと思いますが、各課と連携をとって後期計画につなげていただければ、より良い見直しになり、Aである後期計画につながるのではないかと思います。

会長 この仕組みは、よくある例なので、実際にPDCAに具体的行動を当てはめてサイクルを回していただきたい。そうでないと、名ばかりのものになってしまう。

事務局 ご指摘いただいた点は、6ページからの見直しと、36ページからの具体的施策のリンクの話になるかと思いますが、より分かりやすい表記になるよう検討します。

また、実際に事務を行う担当課が見直しを行う際には、PDCAのシートを作って評価を行います。実務的にはそういった作業を行っていくということでご理解いただければと思います。推進体制においては、委員からもご意見がありましたように、協議会のメンバーや審議の状況を報告していくようにとのことでしたが、今まではなされておらず、現在、市としましては、こういった会議は公開していくことになっていますので、今後、運営していく協議会に関して、資料や評価の内容は、ホームページ等々で発表していきたいと考えております。

会長 目標設定については、数値で設定されているものとそうでないものがありますが、全てが数値で設定できるとは思いませんが、数値がないと評価しづらい点について、今後の評価の際はどうぞお考えでしょうか。

事務局           その点については、評価をすることは難しいですが、市民アンケートで住民満足度という手法があります。例えば、38ページの基本目標3の中の「自分のまちに誇りをもてる、魅力のあるまちなみだと感じる市民の割合」は、市民アンケートの数値になりますので、こういった手法を利用していきます。

会長           委員の皆様で、本日、参加いただいて、まだご意見いただいていない委員の方に、一言ずつでもご意見なり感想なりいただければと思います。それでは順番にお願いします。

委員           前の議題になってしまいますが、8ページ基本目標2の④中「空き家等の適正管理が行われるよう努めました」とありますが、先日、市内の空き家の壁が崩れ落ちる事故がありました。私も現場を見ましたが、本当に適正な管理が行われているのか不安になりました。

会長           市では空き家計画の策定や実施についてはどうなっていますか。

事務局           空き家については、市民の方が、危険家屋を都市計画課に報告していただくようになっていきます。近隣住民の方が、危険な空き家を都市計画課に報告し、都市計画課が所有者に指導を行います。今回のケースは、都市計画課が指導を行っていたかは、把握しておりませんが、そういった体制になっています。どうしても管理をしていただけない方には、法律が新しくなりましたので、新しい法律に基づいて、今後は取り壊しも検討することを視野に入っております。

会長           空き家計画は、策定済みですか。

事務局           策定中です。

会長           多くの自治体が、計画を策定か策定中ですので、参考にさせていただいて、利活用も含めて適正管理していただければと思います。  
次の方どうぞ。

委員           私は、瑞浪陶磁器工業協同組合を代表して参加していますが、先ほどお話にもあった釜戸の事件もありましたし、あの後、組合からすると非常に環境に対する意識は高まっておりまして、適正な処理をするということで、逆に産廃処理業者の方が、忙しくて何カ月も待たされるような状況です。これが

らも、産廃の適正な処理はもちろん、限られた資源を利用していますので、各事業所のさらなる取り組みは、必要となっています。

また、一市民としましても、空き家・空き地としましても、地元空き家がありまして、先日その庭木が、台風により傾いて電線にもたれかかってしまい、近所の方から相談を受けました。市の都市計画課に相談にいったところ、行政代執行はできないとのことでしたが、職員の方の働きかけで所有者の方に撤去をしていただきました。いろいろな空き家の問題はあるかと思いますが、そういった事例を紹介させていただきました。

会長                    空き家は、家屋より先に庭木が問題化してくることが多いです。  
次の方どうぞ。

委員                    私は、学校を代表して参加しておりますが、基本目標4などは、学校教育が大いに関係すると思います。環境学習は、前回も話題になりましたが、昨今英語学習が増えたりと少ない時間数の中で各学校とも工夫してやっているとご理解いただければと思います。それでも例えば、ごみ問題などは、普段の生活の中で、掃除の時間のごみの分別など子供の意識は高いです。

また、先日、屋外で地層の見学授業を行っていたところ、カモシカが現れまして、カモシカは自然の豊かさを代表する生き物ですが、別の面で農業被害が出たりと、環境教育の難しさは、日ごろから実感しております。

委員                    私は、建設業組合を代表してまいりましたが、先日、ある方と話をしたところ、天然記念物や希少種について、基本施策の中にもありますが、実際、私も知りませんでした。瑞浪市ではハナノキやシデコブシなどが自生しているそうです。そういったものの保護を、具体的に名前をあげて載せていただけたらと思います。

委員                    基本目標4の基本施策①「行政と市民との協働体制の整備」に、具体的施策「里親制度による、公共施設の美化、保全活動を行う市民活動団体に対する支援を行います」とありますが、私は、子供の関係で樽上球場を使うことがあります。先日球場のネット裏の狭くなった場所で父兄の方が転ばれて、入院されましたが、そういった球場も公共施設の一つですので、草刈りなどの管理も環境整備の一つだと思います。具体的施策には公園や道路のことは書いてありますが、その他の施設も含めて公共施設全体を取り扱っていただければと思います。

事務局 公共施設の維持管理は、当然、行政がやるべきものですが、財政が有限であるので、あちこちの施設でそういった問題があることは承知しています。また、そういった苦情が、例えば、環境課に入れば、それぞれの所管課に連絡はさせていただきます。管理の観点で言えば、草刈は、年4回行いたいところですが、今後の課題とさせていただきます。

委員 もう一点、草刈り機についてですが、使用について講習があれば、そういった市民活動も広がると思います。

事務局 講習は、土木課が行っていたと記憶しています。周知などの詳細は、把握しておりませんので確認します。

委員 基本目標1に「瑞浪市の風土の基盤である里地・里山や河川等水辺の維持・保全を図ります」とありますが、私は、瑞浪市に住んで長いですが、ここは緑が大変多いところだと思います。もっと緑と調和して保全していくことを載せていくことが大切だと思います。

事務局 緑の保全ということですが、恐らく環境基本計画の中では、基本目標・施策の部分になってくると思いますが、今回は、見直しですので、4本の柱は変えないこととしたいです。ご意見いただいた緑については、里山の保全に該当してくるものと考えております。

委員 河川のプラスチックごみについてですが、私は、長野県などいろいろな河川を見ておりますが、土岐川は汚いです。産業や水量の関係もあると思いますが、プラスチックごみは、人間しか捨てないので、人間が気をつければかなり減ると思います。

委員 そのプラスチックごみは、こういった形で捨てられていますか。

委員 様々な形がありますが、河川に実際に入ってみると、川底にビニール袋から大型のプラスチック製品などがあります。

委員 先日、生活学校の全国大会に参加した時ですが、環境省の方の講演でも、プラスチックごみのことが話されまして、大変頭を悩ませているそうです。生活学校では、今では当たり前になっていますが、昔からプラスチックや缶などのリサイクルを行っていました。その問題になっているプラスチックご

みは、風化して細くなったものを魚が食べてしまい、魚の体内に蓄積されたり、魚が死んでしまったりと影響が出て問題になっているそうです。講演で聞いた話が、実際に土岐川でも起きていると伺い、課題だと感じました。

委員 宿場や文化財の保全とありますが、農業でも、「活用なくして保全なし、保全なくして活用なし」ですので、これが基本的な考え方になりますので、保全だけでは衰退してしまいます。保全したものを活用していくことも取り組んでいただきたいです。

会長 大湫宿も前回案内していただきましたが、大変きれいで、地元の方が、がんばって保全されている、と感じました。

副会長 私は、釜戸の区長会長もやっておりますが、先日の釜戸の災害では産廃が街中に流れ込み中央道も止まりました。復旧作業など目にして、私も役職上陣頭指揮を任されたりしましたが、ボランティアも含めて復旧は、大変早くやっていただけました。また、心配していた大気の公害も、心配していた数値はありませんでしたし、岐阜県の大気測定車「あおぞら号」も常駐して監視していただいたり、マスクの寄付もたくさんいただきましたおかげで、今は必要ない状態になりました。そういうことを踏まえて、自然災害なら致し方ないですが、公害がない環境を目指していかないといけないと痛感しました。

### ③その他

<事務局説明>

会長 委員の皆様からは、よろしいですか。なければ第2回審議会を終了します。